

第5学年 外国語学習指導案

1組男子20名 女子17名 計37名
 指導者 前田 剛
 J T E 財満 憂美香

1 単元名「ランチメニューをつくろう」

教材名 We Can! 1 Unit 8 What would you like? 文部科学省

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子供たちは、これまでの学習で基本的なあいさつの仕方や果物、色、形などの英語について話したり聞いたりする活動を通して英語に親しみ、簡単な会話をできるようにになりたいという願いをもっている。また、自分の誕生日やほしいもの、できることや行きたい国などを紹介する活動を通して、互いのことを知り、友達と関わる楽しさを感じてきている。さらに、英語と日本語での表現の違いなどにも気付き、英語を学ぶ楽しさを味わってきている。

そこで本単元では、レストランを題材とし、注文の際客と店員の会話を通して、英語にも場面に応じて日本語と同じように丁寧な表現があることに気づかせ、丁寧に欲しいものを頼む表現に慣れ親しむことをねらいとしている。また、家族のために考えたランチメニューやその理由を発表する活動を通して、相手意識をもちながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を高めることをねらいとしている。

ここでの学習は、子供たちが主体的に周りとのコミュニケーションを図ることで、友達のことを理解する「将来の夢は」(We Can! 2 Unit 8 What do you want to be?)の学習へと発展していくものである。

(2) 児童の実態 (質問紙 令和元年12月 36名実施)

| 項目 | | 4 | 3 | 2 | 1 |
|----|---|---------------|---------------|------------|---|
| ① | 外国語活動は楽しいですか。 | 24 | 9 | 3 | 0 |
| ② | 話したり聞いたりすることを英語でできたらいいと思いますか。 | 24 | 10 | 2 | 0 |
| ③ | 先生やJTE, ALTの話す英語を聞き取ることができますか。 | 5 | 24 | 5 | 2 |
| ④ | 学習した英語を使って話すことはできますか。 | 8 | 24 | 4 | 0 |
| ⑤ | クラスルームイングリッシュや今まで学習した表現を使って、会話をつなげることができますか。 | 8 | 24 | 4 | 0 |
| ⑥ | My Book を使って、自分のことを友達に伝えたり、友達のことを聞いたりすることは楽しいですか。 | 24 | 12 | 0 | 0 |
| ⑦ | 外国語活動の中では、どのような学習が好きですか。(複数回答) | あいさつ 13 | 歌やチャンツ 17 | 会話や単語の復習 8 | |
| | | 新しい単語・会話 13 | 友達と会話 22 | ゲーム 33 | |
| | | My Book 作成 23 | My Book 発表 16 | スキットを聞く 6名 | |

【考察】

①⑦より、本学級の子供たちは外国語活動を楽しんでいることが分かる。特に、単語や会話の復習のためのゲームや友達との会話、My Bookの作成などを楽しんでいる。また、新しい単語や会話を学習するのが好きと答えている子供が約3割おり、新しいことを学びたいという意欲をもっている子供がいることが分かる。②より、英語で会話をしてみたいという意欲の高さがうかがえる。③より、JTEやALTの発音を聞き取ることができていると感じている子供が約8割いる。④より学習した英語を、自信をもって活用している子供が多いことが分かる。⑤より学習したことを生かして、会話をつなげることができると感じている子供が約9割いる。⑥よりMy Bookを活用して友達と英語で交流することへの意欲の高さがうかがえる。

(3) 指導にあたって

- JTEとHRTのMy Bookを紹介することで、単元のゴールを明確にし、子供たちが見通しをもちながら主体的に活動することができるようにする。
- 児童も巻き込みながらSmall Talkを展開することで、既習事項の復習をしたり、やり取りの中で表現を身に付けたりできるようにする。また、コミュニケーション活動を取り入れることで、相手のことを意識しながら会話することができるようにする。
- チャンツやゲームを通して楽しみながら食べ物や注文する表現を繰り返し練習することで、無理なく学習する表現に慣れ親しむことができるようにする。
- 単元全体を通して、導入段階では聞く活動を多く取り入れることで英語の音声や表現に慣れ親しむことができるようにする。その後、チャンツやゲームなどの活動を通して、話すことに自信をもつことができるようにする。最終的にMy Bookを活用した伝え合う活動を取り入れることで、英語や非言語を用いたコミュニケーションを図りその楽しさを味わうことができるようにする。

3 本時の指導 (1/7)

(1) 目標

- ア 好きな食べ物について、積極的にたずね合う。【学びに向かう力、人間性等】
- イ 既習事項を生かして、好きな食べ物についてたずねたり答えたりする。【思考力、判断力、表現力等】
- ウ 食べ物や料理名の言い方について、日本語との違いや似ているところに気付く。【知識及び技能】

(2) 指導にあたって

【Warm-up】

- パワーポイント教材を活用することで、学習への意欲を高めることができるようにする。
- Small Talk では、既習表現 (What's this? ,Do you like〜? 等) や本時で学習する単語を繰り返し活用することで、学習内容をしっかりとつかむことができるようにする。また、子供たち同士で会話する機会を設けることで、既習事項 (Do you like〜?, Yes, I do. No, I don't. 等) の定着を図ることができるようにする。

【Activity】

- デモンストレーションを行い、インタビュー活動で使う表現を繰り返し聞くことで、子供たちがしっかりと理解してインタビューを行うことができるようにする。
- インタビュー活動での聞き取りが次のゲームで重要になってくることを伝えることで、積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。
- Who am I?クイズを行うことで、インタビュー活動で聞き取ったことを活用してクイズをつくることができるようにする。

【Review】

- 今日の学習内容を具体的に振り返ることで、学習内容についての認識を深めることができるようにする。
- HRT や JTE による My Book の発表を聞くことで、単元のゴールを明確にし、見通しをもって学習を進めることができるようにする。

(3) 本時の展開 (1/7) ※ 太枠で囲んだ部分は、本時の子供たちによる学び合いの活動

| 時間 | 主な学習活動 | 教師の働きかけ○ HRT ☆ JTE | 基本的な語彙・表現 |
|----|--|---|--|
| 8 | 《 Warm-up 》 1 あいさつをする。 2 クラスルームイングリッシュを練習する。 What's this? That's right. 3 Small Talkを聞く。 4 めあてをつかむ。 友達の好きな食べ物をたずねよう。 | ○☆ 子供たちとあいさつを交わすことで、そのときの状態を知ることができるようにする。 ○ 既習事項やクラスルームイングリッシュを活用しながら Small Talk を展開することで、学習の見通しをもつことができるようにする。 ○ Small Talk に子供たちも参加させることで、既習事項の定着を図るとともに、既習事項を本時の学習へと生かすことができるようにする。 | Hello. How are you? How is the weather? What day is it today? What's the date today? What's this? That's right. |
| 5 | 《 Activity 》 6 食べ物の英語や好きな食べ物のたずね方をチャンツで練習する。 | ☆ なるべくゆっくりと発音したり、繰り返し練習を行ったりすることで、子供たちが音声の特徴をつかみ、自信をもって活動することができるようにする。 ○☆ 慣れてきたらタンバリンを活用しながら、リズムに乗って楽しく表現を覚えることができるようにする。 ☆ We Can で紹介されている以外の食べ物については、実態調査をもとに事前に調べておくことで、子供たちの伝えたいことに対応できるようにする。 | bread, rice, rice ball, miso soup, corn soup, beefsteak, ramen, curry and rice, fried chicken, spaghetti, grilled fish, pizza, omelet, salad, French fries, gyoza など |

4 単元計画

(1) 単元の目標

- 他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたり、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。
(学びに向かう力、人間性等)
- 丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。
(思考力、判断力、表現力等)
- 家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。
(知識及び技能)

(2) 単元の基本的な語彙・表現

| | |
|---------|---|
| 学習する英単語 | bread, rice, rice ball, miso soup, corn soup, beefsteak, ramen, curry and rice, fried chicken, spaghetti, grilled fish, pizza, omelet, salad, French fries, gyoza, ice cream, fruits, parfait, cake, daifuku, milk, coffee, mineral water, soda pop |
| 学習する表現 | What would you like? I'd like ~. This is for my ~. |

(3) 単元の指導・評価計画 (全7時間)

| 時間 | 主な学習活動 | 教師の指導・支援、評価の留意点 |
|-----------|---|--|
| 1 (本時) | <p>おすすめのランチメニューを発表しよう。</p> <p>友達の好きな食べ物をたずねよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> Small Talk を聞く。 インタビュー活動 Who am I?クイズ My Book の紹介を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> 子供たちも巻き込みながら Small Talk を展開することで、対話の続け方に気付くことができるようにする。 子供たちの気付きを大切にしながら、単元のゴールを明確に示し、興味・関心を高めることができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>評：既習事項を生かして、好きな食べ物についてたずねたり答えたりしているか。</p> <p>評価方法 → 行動観察、インタビューカード</p> |
| 2 | <p>ほしいものを尋ねたり、答えたりしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> Skit を見る。 Let's Watch and Think2 をする。 ゲームをする。 <p>(1) 聖徳太子ゲーム (2) Let's listen2</p> | <ul style="list-style-type: none"> 写真や具体物を用いて Skit をすることで、子供たちが場面や状況を理解しながら学習を進めることができるようにする。 Skit と Let's Watch and Think2 の表現の違いから、英語にも丁寧な表現があることに気付くことができるようにする。 <p>【知識及び技能】</p> <p>評：丁寧な注文の仕方に気付いているか。</p> <p>評価方法 → 振り返りカード</p> |
| 3 | <p>相手のことを考えて、ランチメニューを作る準備をしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> Let's Listen4 を聞く。 友達のためのランチメニューを考える。 My Book で誰のランチメニューを作るか決める。 | <ul style="list-style-type: none"> Let's Listen4 を聞くことで、誰かのために栄養を考えたメニューを作っていることに気付くことができるようにする。 第1時インタビュー活動の結果を利用することで、相手のことを考えたランチメニューを考えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>評：相手のことを考えて積極的にランチメニューを作ろうとしていたか。</p> <p>評価方法 → メニュー作成中の行動観察、振り返りカード</p> |
| 4 | <p>相手が喜ぶランチメニューを作ろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> My Book の紹介を聞く。(Small Talk) Let's Listen1 を聞く。 My Book を作成する。 | <ul style="list-style-type: none"> My Book の紹介をすることで、誰のことを考えながらランチメニューを作るか考えることができるようにする。 デジタル教材を繰り返し活用することで、学習する表現に慣れ親しむことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>評：My Book の紹介の仕方を考えていたか。</p> <p>評価方法 → My Book 作成時の行動観察、振り返りカード</p> |
| 5 | <p>ていねいにほしいものをたずねたり、答えたりしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> Skit を見る。 Let's Listen2,3 を聞く。 レストランゲームをする。 | <ul style="list-style-type: none"> Let's Listen2,3 を聞くことで、値段の尋ね方、答え方について確認する。 客と店員どちらの役も経験できるようにすることで、注文時の丁寧な表現に慣れ親しむことができるようにする。 <p>【知識及び技能】</p> <p>評：ほしいものをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいたか。</p> <p>評価方法 → ゲーム中の行動観察</p> |
| 6 | <p>ランチメニューを紹介しよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> My Book の紹介を聞く。 発表の練習をする。 My Book を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> チャンツで復習することで、リズムに乗りながら英語の音声的特徴をつかむことができるようにする。 クラスルームイングリッシュや既習事項を活用することで、My Book への感想を英語で伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>評：ランチメニューを積極的に紹介していたか。</p> <p>評価方法 → My Book 発表時の行動観察</p> |
| 7 | <p>世界の料理について知ろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> Small Talk を聞く。 世界の料理クイズをする。 Let's Watch and Think1 をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用しながら Small Talk を展開することで、世界の料理への興味・関心を高めることができるようにする。 デジタル教材を活用し、世界の国々の料理を紹介することで、食文化の共通点や相違点に気付くことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>評：世界の国々の料理について関心を高めていたか。</p> <p>評価方法 → 行動観察、振り返りカード</p> |